

世界は変形菌でいっぱい

楽しさを得る方法

盛岡第四高等学校

一年

澤田

菊世

最近、楽しくない。志望して勉強して入っ

た高校での生活が三カ月程になるが楽しいと

感じられることがあまりない。もちろん友達

と話したり部活動をして笑っていることもあ

るがやはり全体的に考えると楽しくないので

ある。

今、私は将来や自分のやりたい事について

考えがない。道学するのだろうか、どこに、

どうやって、どうして、何をするのか、と考

えようとしても何をすれば良いのか分からず

不安や焦りから逃がれようとしてしまっ

た、ぼろぼろとして過ごしてしまっ。何も考え

ないでいると自分がいなければならぬ事を

しないです済むような気がした。だから、毎日

「空白」のまま過ごしているから今日も楽し

くなかっ。たと感じてしまっのだろう。

そんな自分の将来に背を向け、逃げて、無

気がで過ぎていた私の目を覚ましてくれた  
本がある。この本を読み終わった私は、明ら  
かに読む前と考えが変わった。

この本は、「変形菌」について書かれてい  
る。変形菌は名前には菌とついているが、キノ  
コやカビとは違う生きものである。動いたり  
成長したりした後に胞子を飛ばして子孫を残  
す不思議な生きものだ。

私は、変形菌が何かも知らず、初めは正直  
興味が湧かなかつたが、きれいなレリスのよ

うな写真と説明のおかげで変形菌について知  
った。しかし、私が得たのは変形菌の知識だ  
けではなかつた。私が最初に衝撃を受けたの  
はこの本の作者が十六歳の日本の高校生だっ  
たことである。生きものが好きな作者は五歳  
の頃テレビで映った変形菌に興味を持ったこ  
とがきっかけで自分でたくさんの種類、数の  
変形菌を飼育、研究するようになる。私と同  
じ高校生なのにあまり知られていない変形菌  
というものを育て続けるなんて驚いた。

また、私はこの作者と直接話した訳ではな  
 いが私と明らかに違っているとかかった。私  
 と違っていて好きなことである変形菌にのめり込  
 み一生懸命になっっている。好きなこと、やり  
 たいことに誇りを持ち堂々としていいる。この  
 作者はともキウキウしているように見えた。  
 私も芸術に興味があり、デッサンを習おうと  
 した。ギターもやってみたいと思っった。美術  
 系の大学について調べようとした。けれど  
 ど、それを行動に移さぬまま、深く考えない

まま、後回しにしてしまっている。結局私は  
 何かをしないまま過ぎすことになっってしまった  
 た。  
 なぜ作者はこんな風に楽しそうに自分の好き  
 な事を続けられるのだらうか。  
 それは、小さな事でも希望を持って自分か  
 ら取り組んでいるからだらう。変形菌を育て  
 る事はとても難しく、自然の状態を家で再現  
 するのは困難な事だ。作者は変形菌の飼育を  
 始めたばかりのところは、いろいろ失敗したと

明かしている。でも、変形菌のためにナツチ  
 ンペーパーや寒天の培地、エサを工夫し続け  
 自分から「こうしよう」と決めて飼い続けて  
 いる。そして上手くいったり新たな発見があ  
 るとうれしくなると述べている。変形菌とい  
 うのは周りの人から見ると想像しにくい「変  
 化もの」だろう。しかも、それを飼うと成る  
 とお金も時間も場所も根気も必要だ。だが、  
 作者にとっで好きな事を自分から進んで続け  
 て、小さな発見や問題に立ち向かい、喜びに

する事ができている。私も、好きなことや興  
 味あることを自分から進んでやってみたい。  
 まっとう面倒な事や大変な事も出てくるだろう。  
 それでもそれらを乗り越えれば、小さくても  
 「幸せ」や「楽しさ」が生まれてくるのだら  
 う。

また、この本で作者は「感謝」をしている。  
 自分の研究に理解を示し、サポートしてくれ  
 る両親や研究者の人々、そして自然にありが  
 たみを感じていると思っだ。私は最初、作者

のいる環境や周りの人に恵まれているから研究ができて、それに感謝しているのだと考えた。でも本当は、人や自然に感謝と尊敬をしてい  
 るからこそ、周りがサポートしてくれたり飼  
 育環境が整ったものになるのだろう。私も周  
 りに目を向け感謝をして毎日過ごしたい。そ  
 れによつて私も好きなものに向き合う環境が  
 生まれるかもしれない。

この本は、暗い気持ちでただ過ごしていた  
 私に光をくれた。前向きになるパワーや勇気

を見せてくれた。自分のやりたい事、好きな  
 事にもう一度ちゃんと目を向けてみたい。他  
 人からどうと言われても逃げずに夢中になり  
 たい。それによつて「空白」の毎日が色のあ  
 る鮮やかなものになるだろう。

変形菌のようにな、姿やかたちを変えながら  
 自分らしく生きていきたい。そのために、ま  
 ず好きな事を思いっきり楽しむことから始め  
 たいと思う。そして自分の手で「楽しさ」を  
 得たい。